

基本目標Ⅳ 安全安心なスポーツ活動のための環境整備**推進項目**

- (1) スポーツ施設の整備等
- (2) スポーツ施設の利用促進
- (3) 安全なスポーツ活動の推進

事業の進捗状況

- ・ 体育施設の整備を進めるにあたり、施設を利用する関係団体等の意見を聴取し、施設の在り方を検討するための「酒田市体育施設整備懇談会」を今年度より実施している。これまでに 2 回実施し、第 1 回は光ヶ丘野球場について、第 2 回は市体育館（スケートリンク）の 2 つの体育施設を対象として開催した。
- ・ 国体記念体育館の大規模改修工事について、10 月 3 日に事業者と本契約を締結した。今後は令和 5 年 3 月から体育館の外部足場工事を進め、4 月からはアリーナ、弓道場の利用を停止する。工事の履行期限は令和 6 年 3 月 15 日までであり、3 月末まで体育館の利用を停止する。
- ・ 体育施設照明設備改修事業として、国体記念テニスコートの屋外照明設備改修工事を実施している。工事は年内に完了する予定である。
- ・ 予算付けされている備品を発注、購入した（グラウンド整備用スポーツトラクター）。一方で購入の準備を進めていたスポーツ用品について、単価の値上げにより予算内での購入ができなかったことから、補正予算を実施し発注している。
- ・ 体育施設耐震改修事業として予定していた八幡体育館の耐震改修工事は、設計業務完了が遅れ国体記念体育館の大規模改修工事と工事日程が重なる見込みであったことから、工事の実施を先送りしている。
- ・ 体育施設整備事業で予算付けされている令和 3 年度～令和 4 年度（継続費）の武道館会議室エアコン更新工事は令和 4 年 5 月に完了し、本格的な夏を迎える前に準備することができた。

現状評価

- ・ 体育施設の整備については、「体育施設整備方針」に基づきながら計画的な修繕や施設の長寿命化に向けた耐震改修工事の実施、検討を進めていく必要がある。しかし、屋外照明設備の落下など想定を上回る経年劣化が進行している施設があり、方針では検討されない部分の対応が必要となっている。
- ・ 限られた市の財源の中、交付金などの特定財源の活用を検討しつつ、危険度に応じた優先順位をつけながら年次計画により改修を進めていく必要がある。

令和 5 年度の予算要求に向けて

- ・ 「体育施設整備方針」に則って、耐震改修が実施されていない施設の改修工事や老朽化が著しい国体記念体育館の改修工事のほか、照明設備やトイレ洋式化の改修工事等について年次計画を立てて順次進める。

令和4年10月4日

スポーツ振興課作成

- ・今年度の体育施設整備懇談会の開催により、光ヶ丘野球場と市体育館について整備の方向性が検討されている。懇談会で出された意見を参考としながら、施設の改修や改築を進めていく。
- ・国体記念体育館の大規模改修工事は、令和4年度から5年度にかけての継続費を設定して実施している。交付金や補助金の申請等の手続きを行いながら、工事を進めていく。
- ・都市公園内の体育施設について、酒田市都市公園施設長寿命化計画に基づく社会資本整備総合交付金の活用による整備を進めていく。

数値目標

KPI		指標値 (R6)	現状値	現状値 (R3)
	スポーツ施設の利用者数		764,600人 (R11 770,000人)	H29 758,144人

関連事業

No.	事業名	活動・手段指標	目標値等	予算額(千円)
1	体育施設整備事業	年度内事業の完了	終了	7,809
(事業概要) ○体育施設の維持管理に要する大規模修繕を図り、安全で快適なスポーツ環境を提供する。 ・ 役務費／八幡修道館（アスベスト事前調査） ・ 工事費／武道館（会議室エアコン更新工事）、 ・ 備品購入費／光ヶ丘球技場（グラウンド整備機スポーツトラクター）、 陸上競技場（ハードル）				
2	体育施設管理事業	スポーツ施設の利用者数	770,000人	321,044
(事業概要) ○市内42体育施設の維持管理経費。 ・ 施設修繕料 ・ 燃料費及び光熱水費 ・ 施設管理委託料 ・ 指定管理委託料 光ヶ丘プール、松山・平田スキー場、八森自然公園内体育施設（7施設）、飯森山地区体育施設（3施設） ・ 体育設備品購入費 陸上競技場（陸上競技備品）				